

KDDI株式会社

第33期定時株主総会

議 長

代表取締役社長

田中 孝司

議事進行手順

- ① 監査役の監査報告
- ② 報告事項のご報告
- ③ 各議案のご説明
- ④ 書面質問へのご回答
- ⑤ 質疑応答
- ⑥ 決議事項の採決

第33期事業年度 監査報告

第33期招集ご通知
添付書類
53～54ページ

第33期事業年度 事業報告

第33期招集ご通知
添付書類
23～44ページ

KDDIグループ

第34期の課題と取り組み

当社を取り巻く環境の変化

競争環境の変化

格安スマホの
急速な普及

競争軸のシフト

業種を超えた
大競争時代

**国内通信事業の持続的成長と
新たな成長軸の確立**

第34期の取り組み ～中期目標に向けた2年目として～

“お客さま体験価値を提供するビジネス”
への変革を加速

国内通信事業の
持続的成長

au経済圏の
拡大

グローバル事業の
積極展開

auの魅力向上・
IoT/5Gの推進

ライフデザイン事業
本格展開

アジア新興国の
通信事業強化

お客さま体験価値の提供に向けて（1）

auのお客さま一人ひとりの スマホ・ケータイ体験を高めるために



*専用 dongle をテレビに接続

スマホは
“パーソナルアシスタント”に

ケータイに届いた写真を
テレビの大画面で見られる

お客さま体験価値の提供に向けて（2）

ご購入から使いこなしまで、スマホライフを徹底サポート！

auスマートサポート

（会員制サポートサービス）



購
入
前

- 1 ご自宅訪問契約（使い方レッスン付き）
- 2 スマホお試しレンタル

購
入
後

- 3 auスマートサポートセンター（電話サポート）
- 4 スマホ訪問サポート
- 5 データ復旧サービスご優待
- 6 使い方ガイド本プレゼント

お客さま体験価値の提供に向けて（3）

auご利用のお客さまへの還元を強化

WALLETポイントを“貯める”

au STARロイヤル

毎月ポイント還元



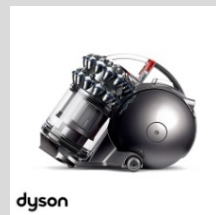
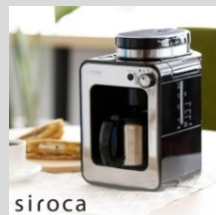
auのご契約年数と
データ定額料に応じて

*還元には条件があります。

WALLETポイントを“使う”

au STARギフト

人気商品を厳選してご提供



*ギフトの一例です。取扱期間はギフトにより異なります。

“モバイルID数”の拡大 ~au+MVNO~

KDDIグループ各社は強みを生かし MVNO事業を展開

 UQ mobile

 J:COM MOBILE

 BIGLOBE

主な
お客さま層

スマートフォン
初心者

スマートデバイス
初心者

SIMカード
ご利用者

販売面の
強み

UQスポット
および量販店

J:COM営業網

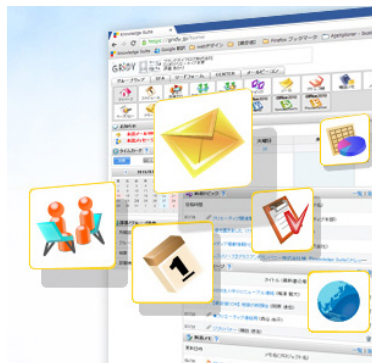
オンライン中心の
自社チャネル

法人のお客さまビジネスへの貢献（1）

法人の新たなビジネス環境をご提案

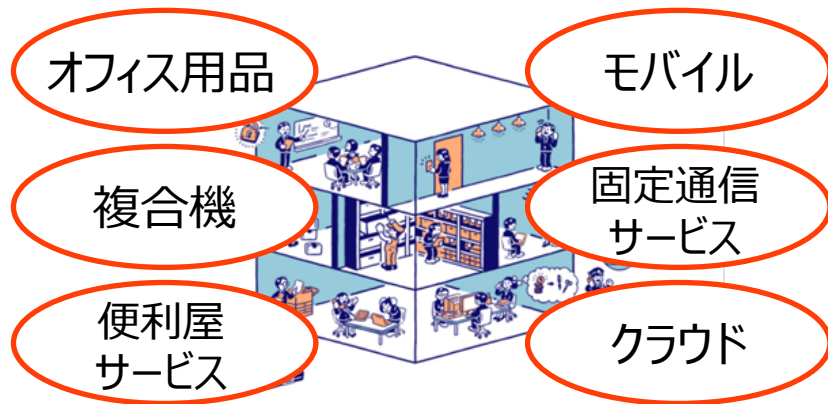
KDDIクラウドサービスの展開

～ワークスタイルの変革を実現～



『KDDIまとめてオフィス』

～中小企業のビジネス拡大を支援～



法人のお客さまビジネスへの貢献（2）

IoTを活用する新たなビジネス創出を推進

コネクテッドカー

～グローバル規模で基盤を構築～

トヨタスマートセンター（TSC）

グローバル通信プラットフォーム

X国通信事業者

Y国通信事業者

Z国通信事業者

通信回線の統合管理・監視



X国



Y国



Z国

KDDI IoT クラウド

～トイレの空室管理・節水管理～



5G時代に向けた取り組み

様々なパートナーと実証実験を開始

スマートステーション



京浜急行電鉄 早稲田大学 パナソニック

高度セキュリティシステム



セコム

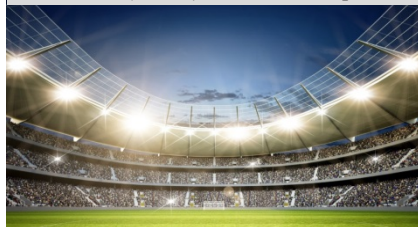
ICT施工



大林組

NEC

スタジアム
エンターテインメント



那覇市教育委員会

スマートスクール



小金井市教育委員会

空撮映像配信

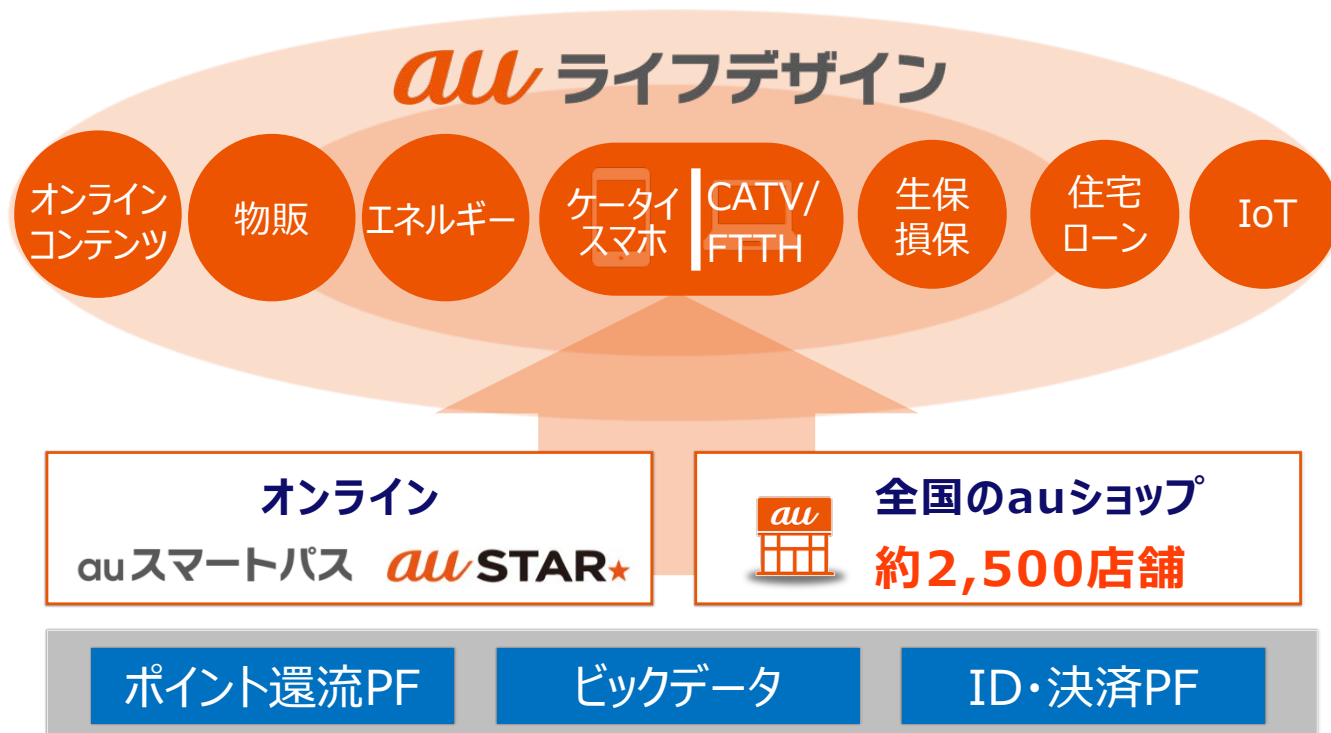


東京大学

au 5G

au経済圏の最大化に向けて

“ライフデザイン事業”を本格展開



ライフデザイン事業（1）～物販～

総合ショッピングモール「Wowma!（ワウマ）」の 店舗数と取り扱い商品数の拡充を目指す

毎日がワウ!になる
Wowma!

2017年1月
サービスブランド統合

au
ショッピングモール

DeNA
ショッピング



※ 掲載の画像はイメージです。

ライフデザイン事業（2）～金融～

auのお客さま向けサービスを展開し
お客さま体験価値向上を目指す



auの生命ほけん

au 損保

auの損害ほけん

じぶん銀行

au住宅ローン



2017年1月より、
直営店で取扱いを順次開始

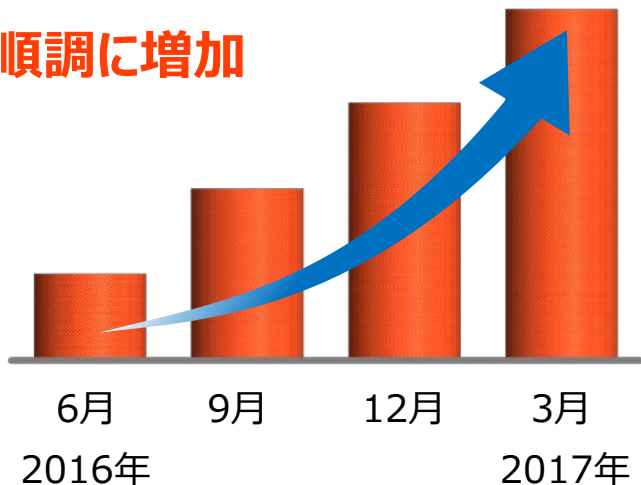
ライフデザイン事業（3）～エネルギー～

電力小売り事業に加え、ガスサービスを取扱い開始

auでんき

2016年4月
全国一斉スタート

順調に増加



2017年4月
関西地域で取扱い開始

主な割引特典

おトクな関電ガスの料金から
auでんきとセットで

さらに

3%割引

au WALLET
クレジットカードの支払いで

200円（税込）につき

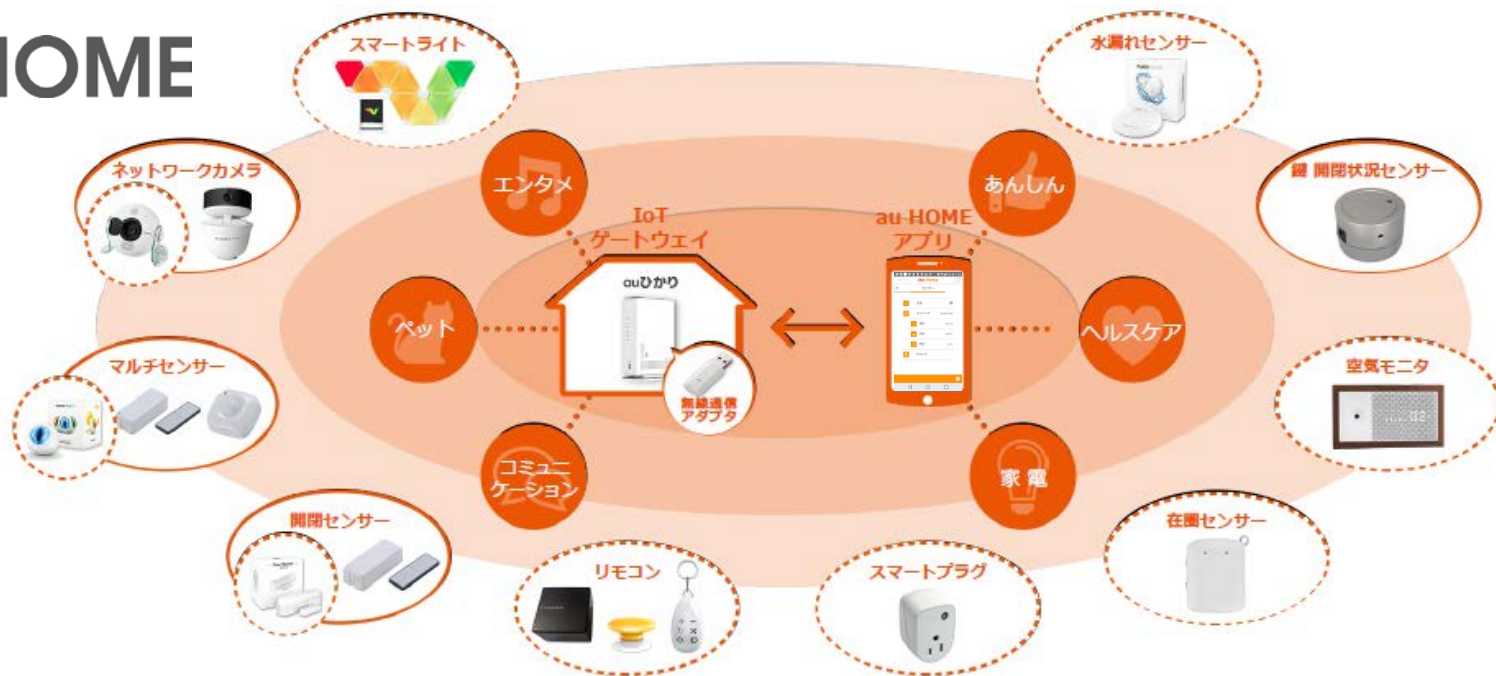
4ポイント還元

※ auサービスをご利用の上、大阪ガスと都市ガス契約をされている方が対象となります。
特典の詳細はHPをご覧ください。

ライフデザイン事業（4）～ホームIoT～

アプリで誰でも気軽に始められる
ホームIoTサービスを7月下旬以降開始

au HOME



グローバル事業の積極展開に向けて

ミャンマー・モンゴルの通信事業強化と 欧州を中心としたデータセンター事業の推進



ネットワーク速度
No.1

Speedtestの
Ookla社が認定

サービス拡充／営業体制の
強化、LTEの本格展開



LTEエリアの拡大
ポストペイドへの移行促進



TELEHOUSE LONDON Docklands North Two

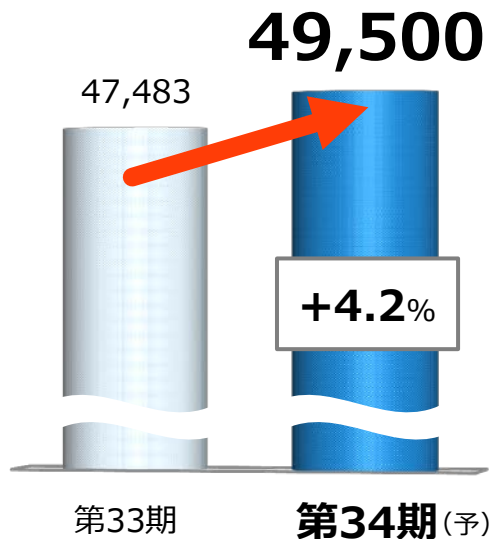
欧州を中心とした
高品質なDC事業の展開

第34期の業績目標

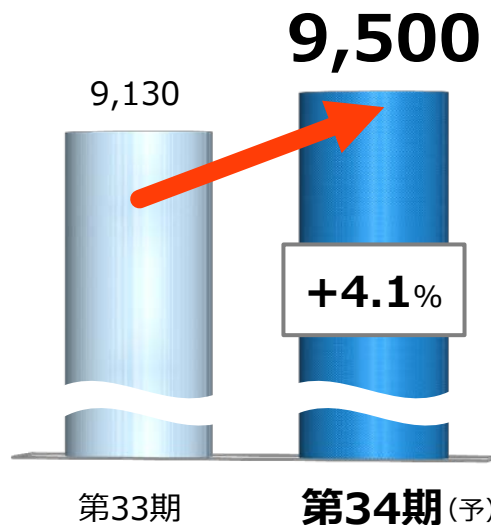
売上高・営業利益・当期利益

事業成長に向けて、「増収増益」を目指す

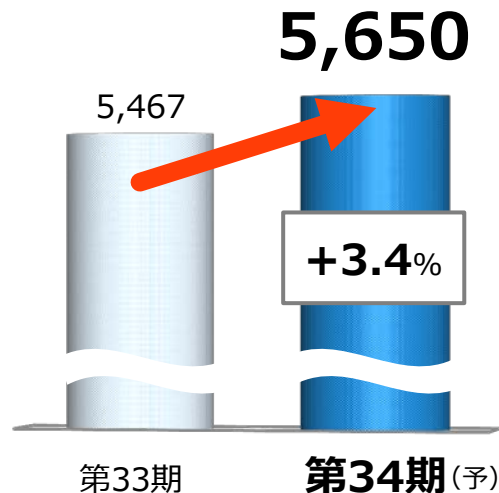
売上高



営業利益

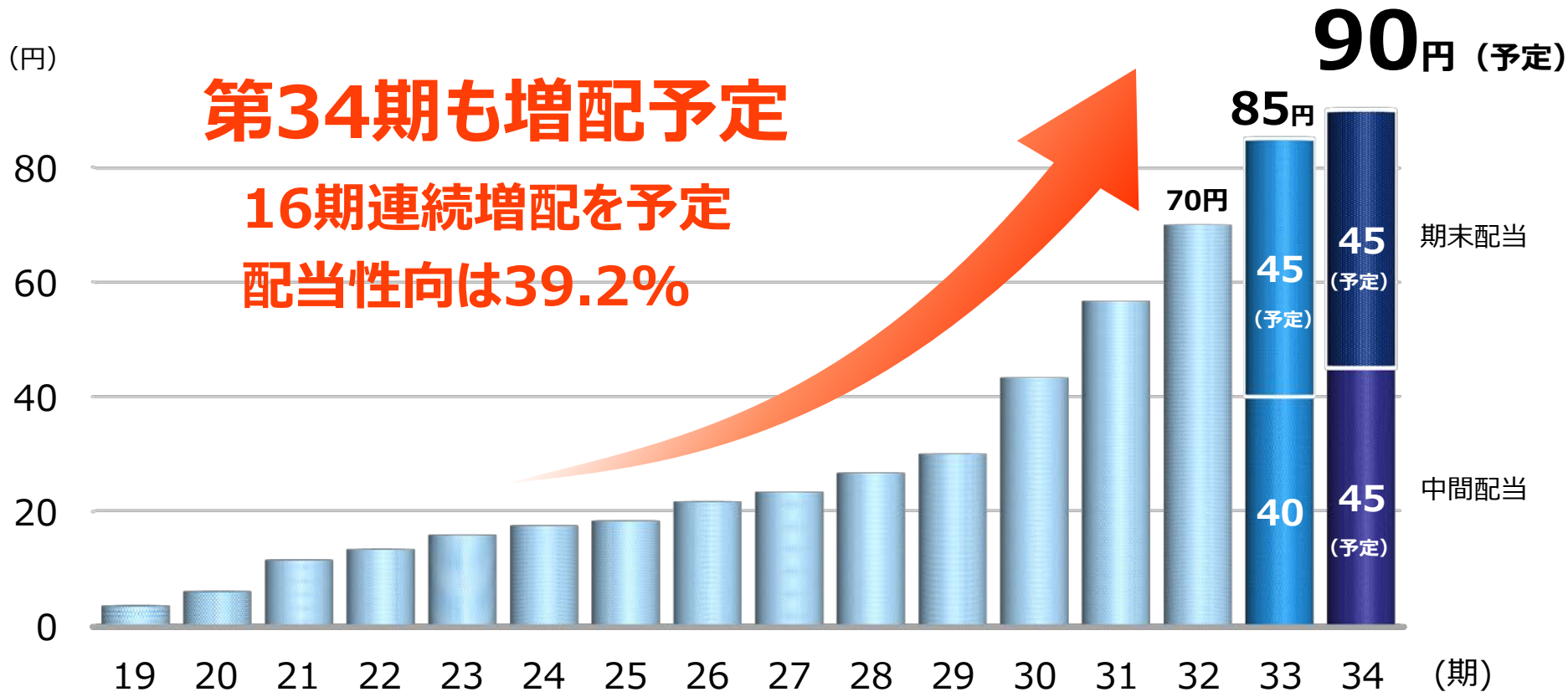


親会社の所有者に
帰属する当期利益



*単位は全て億円。

1株あたり年間配当金



1株当たり株式価値の向上

<2017年5月~>

約1,000億円の自己株式取得

<2017年5月>

約3,300万株の自己株式を消却

**ご出席株主数
議決権個数報告**

各議案のご説明

第1号議案

「剰余金の処分の件」

(招集ご通知 7～8ページ)

第2号議案

「取締役14名選任の件」

(招集ご通知 9ページ)

**書面によるご質問への
一括ご回答**

書面によるご質問への 一括ご回答

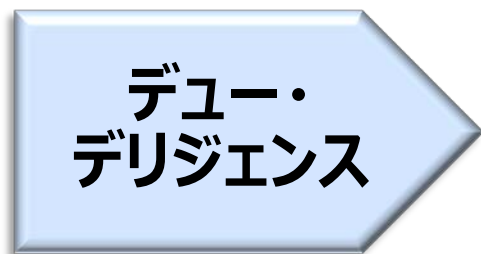
代表取締役 執行役員副社長

両角 寛文

ご質問 I

- **当社、連結会社及び支配下集団の組織、経理、業績等に瑕疵は隠れていませんか。**

- 当社及び子会社等において、グループ経営を揺るがすような瑕疵は隠れていないと認識しております。
- 新たに子会社とする場合には、多額の損失リスクを内包しないように、様々な対処を実施しています。



- ✓ 事業構造把握
- ✓ リスク把握



- ✓ 決裁基準設定
- ✓ 役員派遣



- ✓ 内部監査
- ✓ 企業倫理委員会

デュー・ デリジェンス

- M&Aの実施にあたっては、法務・経理部門等のほか、外部の専門家を交え、デュー・デリジェンス（出資対象会社に対する詳細調査）を実施しています。

- ✓ 事業構造の把握
- ✓ 重点調査項目の設定
- ✓ 専門家を交えた調査（弁護士・会計士等）
- ✓ リスク等の把握
- ✓ リスク等への対処
- ✓ 出資可否の検討



統合 プロセス

- M&A後の統合プロセス（PMI：Post Merger Integration）を構築し、子会社化にあたっては、以下を実施することとしています。

- ✓ 決裁基準の設定
- ✓ CxOを含む取締役の派遣
- ✓ 監査役の派遣
- ✓ レポートライン構築
- ✓ 主要会議への参加
- ✓ 会計原則の適用

内部統制

- すべての子会社に対して、ガバナンス強化の観点から、以下を実施しています。

- ✓ 内部統制責任者の設置
- ✓ 子会社管理規程に基づく連携体制の整備
- ✓ リスクマネジメント体制の整備とリスク点検の実施
- ✓ 企業倫理委員会の開催
- ✓ KDDI行動指針と内部通報制度の浸透活動
- ✓ 定期的な内部監査の実施

**のれん減損
兆候チェック**

- 「のれん」については、四半期ごとに減損の兆候をチェックしております。

**のれん減損
テスト**

- 減損の兆候の有無にかかわらず、毎年減損テストを実施し、対象子会社の事業価値が「のれん」を含む純資産を下回った場合は、その差額を減損損失として適切に処理することとしています。

● のれん（2017年3月末現在）：4,779億円

J:COM

ジュピターテレコム

： 2,808億円

SHOP
CHANNEL

ジュピターショップチャンネル

： 926億円

BIGLOBE

ビッグロブ

： 188億円

WM WebMoney

ウェブマネー

： 130億円

その他

いずれも業績は好調

ご質問 Ⅱ

- **利益相反（conflict of interest）に関連した株式の議決権行使の制限は、どの範囲まで及んでいますか。**

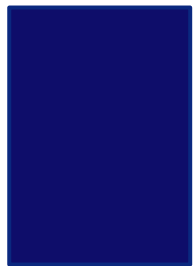
● 議決権を行使しない株式は以下のとおりです。

種 別	株式数	備 考
1. 自己株式	160,937,500	
2. BIP 信託 【役員向】	347,500	第31期定時株主総会 第4号議案決議
3. ESOP 信託【管理者向】	1,356,300	平成27年4月14日開催 取締役会決議
4. KDDI財団 信託	1,125,000	第31期定時株主総会 第5号議案決議
合 計	163,766,300	(発行済株式の6.2%)

※2017年3月末現在

質疑応答

おみやげ袋内のクリアファイルを
議長に向けて掲げてください。



ご発言の際は、
出席票番号とお名前を
お願いいたします。

ステージ

A



B



C



D



E



1

2

3

議案採決

第1号議案

「剰余金の処分の件」

(招集ご通知 7～8ページ)

議案採決

第2号議案

「取締役14名選任の件」

(招集ご通知 9ページ)

Designing The Future

KDDI